

表紙の写真は6月16日(木)に子育て支援センターで行われたリトミック教室の様子です。

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話 12
- know「農」 14
- カルチャー 15
- 町の情報ひろば 16
- こうげ素敵人 18
- こうげマンが行く! 18

<http://www.town.koge.lg.jp>



●編集発行/上毛町役場企画情報課
●印刷/築上印刷有限会社
〒871-0092
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-3-21-1
TEL 0979-723-3111
FAX 0979-723-6664

人の動き

5月31日現在

- 世帯数 3,169 (+5)
- 男性 3,697 (-3)
- 女性 4,110 (-1)
- 人口 7,807 (-4)
- 65歳以上 2,596 (-1)
- 33.3%
- 75歳以上 1,409 (-4)
- 18.0%

- うち外国人
- 人口 28(±0)
 - 男性 20(±0)
 - 女性 8(±0)
 - 世帯数 25(±0)
 - (うち混合世帯3)

- 参考
- 平成17年10月11日
合併時
- 人口 8,499
 - 世帯数 3,057

こうげ素敵人

KOGE Nice person!

人権尊重の社会の実現を目指して



地域の中で人権が侵害されないように様々な活動をしている「人権擁護委員」の皆さんを紹介します。

人権擁護委員とは? ~その活動と役割~

常務委員
峯 正弘さん

人間が「命」という平等なものを受け、生きていく上で、人間らしく生きていく権利(人権)は、全ての人が生まれながらにして持っており、それは日本国憲法でも保障されています。しかし、物質的な豊かさに重きを置き、心の豊かさが大切にされない風潮、あるいは他人への思いやりの心が希薄で、自己の権利のみを主張する傾向が見受けられます。このような状況が、さまざまな人権侵害を発生させる大きな要因の一つとなっています。特に、最近では、いじめや体罰・児童虐待などで尊い命が奪われる子どもに関する人権問題が増加しています。さらに、同和問題をはじめ、女性や高齢者、障がいのある人への差別や虐待のほか、インターネットを悪用した、特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動など人権侵害の内容も深刻さを増しています。



唐木 妙子さん 佐々木 行子さん 筒井 治吉さん

そこで町には、人権に関する地域住民の身近な相談相手として法務大臣から委嘱された4名の人権擁護委員が活動しています。福岡法務局行橋支局の人権擁護部や町と協力して、面談や電話による人権相談のほか、保育園や小中学校での「人権の花」運動や人権教室、人権作文の募集と表彰、街頭での啓発など人権意識を高めるためのさまざまな人権啓発活動を実施しています。

「人権の世紀」といわれる21世紀に入っただけで15年以上が過ぎていますが、人権の世紀にはほど遠い状況です。私たち人権擁護委員はこれまでの活動を振り返り、さらなる研さんを積み重ねながら、学校・地域・職場などに足を運び、人権啓発活動に積極的に取り組むことが大切です。人権相談では、公正・中立の立場で相談を受けるよう努力しています。相手の気持ちを考え、一人ひとりの人権を大切に、お互いの違いを認め合える人権尊重の社会の実現に少しでも寄与できればと思っています。

「人権の世紀」といわれる21世紀に入っただけで15年以上が過ぎていますが、人権の世紀にはほど遠い状況です。私たち人権擁護委員はこれまでの活動を振り返り、さらなる研さんを積み重ねながら、学校・地域・職場などに足を運び、人権啓発活動に積極的に取り組むことが大切です。人権相談では、公正・中立の立場で相談を受けるよう努力しています。相手の気持ちを考え、一人ひとりの人権を大切に、お互いの違いを認め合える人権尊重の社会の実現に少しでも寄与できればと思っています。



ごみの量

- 5月31日現在
- 可燃ごみ 148.64t (+21.38t)
 - カン・ペットボトル 2.40t (-0.43t)
 - びん 4.39t (-1.14t)
 - 古紙他 10.95t (-8.30t)
 - 可燃粗大 3.34t (-1.58t)
 - 不燃 8.23t (+1.54t)
 - プラスチック製容器包装 2.17t (+0.59t)
 - 紙パック、白色トレイ 0.05t (-0.01t)

※()内は前月増減

環境対応型植物油インキを使用しております。

こうげマンが行く!

八坂神社

垂水



イラスト/絵本製作委員会 東みどりさん

とべら祭り

■日 時 7月7日(木)
午前中 神事
15:00~ 唐原神楽

昔から伝わる疫病除けの「とべら祭り」

「とべら祭り」は垂水地区の八坂神社の氏子の皆さんを中心に、毎年7月7日に行っている厄除けのお祭りなんだよ。とべらの木は枝を切ると独特の匂いがするため、玄関に置くと病気になるという言い伝えがあり、とべらという名称も「扉に挿す木」→「扉の木」から「とべら」になったそうだよ。八坂神社は明治の初めまで牛頭天王宮とよばれていて、疫病鎮守のためのお宮だったことから、その風習にな

らって「とべら祭り」が始められたと言われているんだって。とべらの木は境内に自生していて、氏子のみなさんが消毒などの管理をしているよ。

当日は、午前中のうちに神事が行われ、宮司さんのお祓いを受けたとべらを販売するよ。毎年200~300本が売り切れるというから昔から親しまれてきたお祭りなんだね。また、唐原神楽の奉納もあるから行ってみてね。

